



山なみ分校の教育目標

◇みんな仲よく

○集団生活への参加・適応と健康生活、社会生活への適応ができる力を育てる。

◇きりつ正しく

○基本的な生活習慣の確立と健康生活を向上させる力を育てる。

◇すすんで働く

○勤労意欲・働く態度の向上と職業生活への参加する力を育てる。

特色ある学校作りを目指して

先日の新聞報道にもありましたように、道教委が2020年3月末に閉校予定の明德小学校の校舎を活用して、知的障害のある小学生・中学生を対象にした特別支援学校を、2021年4月1日に新設すると発表しました。苫小牧市内や近隣町には現在、特別支援学校がなく、開校によって東胆振地区の特別支援教育の益々の発展が見込まれます。この特別支援学校新設によって、本分校が今後どのような役割を担っていくのかは今のところ全くの未定です。しかしながら、特別支援教育の重要性が日々増している現状を踏まえると、私たちが担う責任は益々大きくなっていくものと考えておりますので、今まで以上に充実した教育活動を推進していけるよう努力していきます。

さて、保護者の皆様、有珠の沢町内会の皆様、民生委員・主任児童委員の皆様、啓北中学校の皆様、山なみ会の皆様方など、多くの方々のご協力をいただき、今年度も体育大会を無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。このように、多くの方々にご参加・ご支援いただき行事を行えるのは、本分校の財産です。また、体育大会前には、体育館で一堂に会して会食する交流給食を行って仲間意識を高めたり、体育大会終了後には啓北中学校のボランティアをしてくれた生徒とお昼ご飯を一緒に食べてレクを行い、交流を深めることができました。1つの行事にあわせて、いろいろな活動を組み合わせることができるのは、本分校の魅力です。

これからも、本分校が持つ財産と魅力を活かし、ご理解・ご支援・ご協力をいただきながら、皆様と一緒に、山なみ分校ならではの特色のある学校教育を展開していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



7月の行事予定

- 3日 避難訓練
午前授業（苦教研のため）
- 6日 市P連 母親委員会
- 7日 育成会祭り
- 8日 振替休業
- 10日 市P連 単P会長会議
- 11日 個別懇談週間（～19日）
- 12日 参観日・全体懇談
防犯教室
- 15日 **海の日**
- 23日 お楽しみ会
- 25日 終業式
（6時間授業・給食あり）
- 26日 **夏休み（～8月19日）**
- 27日 有珠の沢町内会祭

体育大会のご協力ありがとうございました

天候が悪く体育館での実施となりましたが、皆様のご協力の下、無事に体育大会を終えることができました。生徒の頑張りはもちろん、保護者の皆様・地域の皆様と作り上げる山なみ分校の体育大会。最後は、苫小牧サンバを全員で踊り、会場が一体となりました。来年度もご協力よろしく申し上げます。

身の安全を守るには・・・

今月の4日、学校で交通安全教室を行いました。また、来月の12日には、苫小牧警察署の方をお呼びして、防犯教室を行う予定です。

令和という新しい時代を迎えましたが、前月末の川崎市での痛ましい事件や新潟県での震度6強という大地震など、予期せぬ事が次々と起こっています。このような突発的な出来事に対応するためには、日頃からこういった教室や訓練で学ぶことで、『自分の身は自分で守る』という意識を高め、知識や行動を身につけることが重要です。

先日、知事より『子どもの安全を守るためのメッセージ』が出ましたので、紙面右に記載します。生徒には交通ルールを守るなどの指導をこれからも徹底していきますが、保護者の皆様・地域の皆様におかれましても見守りのご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

道民の皆様へ

子どもの安全を守るための知事メッセージ
～地域・社会が連携して子どもたちの安全を守りましょう～

本年5月、神奈川県川崎市において、多くの児童らが殺傷されるという大変痛ましい事件が発生しました。

未来ある子どもたちが犯罪の被害に遭い、かけがえのない命が絶たれてしまうことは、あってはならないことです。

子どもの安全を確保するためには、地域と社会が一体となって、「子どもたちの安全を守る」という共通の思いのもと、子どもたちが犯罪等の被害に遭わないよう見守っていくことが必要です。

道では、道警察、道教育委員会等の関係機関とともに、多くの企業や団体の皆様の御協力をいただきながら、安全で安心な地域社会の実現を目指す「安全・安心どさんこ運動」を推進しています。

道民の皆様には、登下校時間帯を中心として、通学路や子どもが集まる場所において、地域の子どもの安全を見守る活動に御協力いただき、異変を感じた際には、警察や学校への通報や子どもの保護などの対応をお願いします。

また、子どもたちに対しては、「防犯ブザーや大声で近くの大人に知らせる」、「近くのお店や家に避難する」など、危険な状況に遭った際の具体的な対策について伝えていただきたいと思います。

道民一人ひとりが地域や社会との絆を深め、子どもの安全安心に注意と関心をもち、できることから取り組んでいただきますよう御協力をお願いします。

令和元年6月17日

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議会長

北海道知事

鈴木直道